

叡啓大学 2027 年度入学者選抜（春入学）

総合型選抜・留学生選抜

小論文

多様性のための英語について

叡啓大学は、実践的な英語を身につけ、多様な価値観を理解できる人になるための「多様性のための英語」に力を入れています(叡啓大学, 2026)。世界では約 15 億人が英語を使用しており、そのうちの大多数はノン・ネイティブ（非母語）と言われています(Eberhard et al., 2026)。このことから、現代において英語は、国籍や言語、文化的背景の異なる人々が対話するための「グローバル・ランゲージ」や「リング・フランカ（国際共通語）」としての重要な役割を果たしていると言えます(鳥飼, 2011)。また、社会言語学において、英語は「自分自身の文化やアイデンティティを表現し、他者と相互に理解し合い、共に新しい価値を創り出す（協働する）ための道具」と位置づけられています(矢野, 2004)。

参考文献

- Eberhard, D. M., Simons, G. F., & Fennig, C. D. (Eds.). (2026). *What are the top 200 most spoken languages?* Ethnologue. <https://www.ethnologue.com/insights/ethnologue200/>
- 叡啓大学. (2026). 叡啓大学の 4 つの特長. <https://eikei.ac.jp/about/brand/messages/>
- 鳥飼 玖美子. (2011). *国際共通語としての英語*. 講談社.
- 矢野 安剛. (2004). 「外国語としての英語」から「国際語としての英語」へ: 英語教育再考. *早稲田大学大学院教育学研究科紀要*, 14, 179-195.

(問い)

叡啓大学が掲げる「多様性のための英語 (English for Diversity)」とは、どのような英語だと思いますか。また、「多様性のための英語 (English for Diversity)」は、社会課題の解決にどのように貢献すると思いますか。

あなたの身近な社会課題を一つ挙げ、その課題を選んだ理由と社会的背景について、信頼できる文献や具体的な事例を適切に引用・参照しながら説明してください。その課題の解決のために英語がどのような役割を果たし得るのか、あなたの考えを述べてください。

小論文のアウトライン（例）

項目 (段落数の目安)	記述内容
小論文のタイトル	小論文の内容を簡潔に示す題目を書いてください。
はじめに (1 段落)	小論文で考察する主題とその目的を示してください。
多様性のための英語とは (1 段落)	「多様性のための英語」とはどのような英語か、あなたの考えを述べてください。
社会課題の概要と重要性 (2-3 段落)	あなたが重要だと考える身近な社会課題を一つ選び、その課題を選んだ理由と社会的背景について説明してください。自らの経験や観察、信頼できる文献や具体的な事例を用いて、その課題の重要性を論じてください。
社会課題解決における英語の役割 (1-2 段落)	「多様性のための英語」が、当該の社会問題の解決や対応にどのような役割を果たすと考えるか、具体的に説明してください。
おわりに (1 段落)	小論文全体の内容を振り返り、叡啓大学で学ぶ「多様性のための英語」が将来どのように社会で役立つと考えるか、あなたの考えをまとめてください。
参考文献リスト	参照した書籍や論文、ウェブサイトなどを記載してください。文献の記載方法については、様々なスタイルがあります。参照元がわかるように一貫した形でリストが作成されていれば、スタイルは自由とします。

執筆ガイド

- ・ 「小論文のアウトライン（例）」を参考にして、各項目について記述してください。項目のタイトル（各項目「はじめに」等の見出し）の記載は、必須ではありません。また、表現を変えても構いません。
- ・ 小論文で取り上げるデータや事例や主張については、根拠となる資料を示し、「参考文献リスト」に記載してください。参考文献リストはページ数に含めないものとします。
- ・ 解答用紙は、本学指定のテンプレート（ワードファイル）を使用し、直接文章をタイプしてください。分量は図表を含め A4 サイズ 2 ページ以内（フォントサイズは 10.5 ポイント）とします。解答用紙以外（参考資料など）の提出はできません。
- ・ 小論文の文章は、「です・ます」ではなく、「だ・である」で統一してください。
- ・ 文章の内容のまとまりごとに、段落を作ってください。段落のはじめは一文字分空けてください。一段落は 200～500 字程度を目安としてください。「小論文のアウトライン」には段落数の目安を示しているなので、参考にしてください。

評価基準

本学は、次の基準で小論文を評価します。

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー (求める学生像)
基礎的要件	・ 指定テンプレートを用いているか？ ・ 指定の分量を守っているか？ ・ 課題の指示に従っているか？ ・ 誤字脱字がなく、適切な文法を用い、読みやすい文章で書かれているか？	—
姿勢・視野	・ 多様性のための英語について十分に理解しているか？ ・ 自身の経験や観察を社会課題と関連づけられているか？ ・ 社会課題の原因や背景について、資料にもとづいて客観的に論じられているか？ ・ 多様性のための英語が社会問題の解決や対応にどう結びついているのかについて論じられているか？	・ 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者 ・ 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
学力・表現力	・ 資料や具体例にもとづいて議論を展開できているか？ ・ 論理的に小論文を組み立てられているか？ ・ 自らの考えを具体的にわかりやすく表現できているか？	・ 高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者